

やすらぎ

2019.1
January
Vol.78



「ひらないまるごとグルメ館・ホタテ一番」&新・ご当地グルメ「平内ホタテ活御膳」

養殖ホタテの水揚げ量・日本一を誇る平内町。昨年「ほたて広場」のとなりオープンしたのが「ひらないまるごとグルメ館・ホタテ一番」だ。全国的にも珍しいホタテ料理専門レストランで、平内産の「ホタテ」にこだわった、いろいろな創作メニューが味わえる。一番人気は、新・ご当地グルメ「平内ホタテ活御膳」。2015年3月のデビュー以来、5万食以上を販売。活ホタテの刺身、活ホタテのステーキ、ベビーホタテの寿司、ベビーホタテの澄まし汁、ホタテアイスが味わえる、ホタテ尽くしのおもてなし膳だ。「ホタテおむすび&10種おかず籠盛り弁当」は、ホタテおむすび3個おかず10種、香のもの、ホタテの澄まし汁付き。ほかにも、「炙りホタテ&ワンタン岩海苔塩ラーメン」「活ホタテの刺身付き活ホタテの刺身丼」「熱々ホタテのラクレットチーズ焼き」など、食べてみたいものばかり。

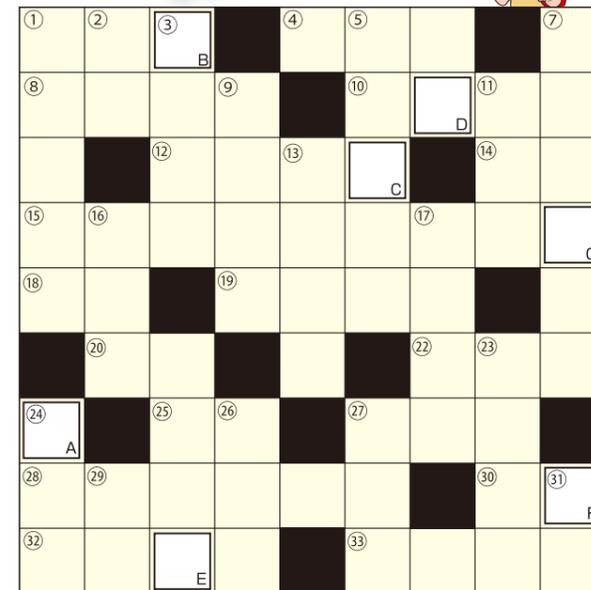
チャレンジショップでは、スイーツや産地別の珈琲も楽しめるほか、ホタテの浜焼きコーナーもある。青森市街地から車で約30分、冬期間も営業しているので、出掛けてみてはいかがだろうか。

くみあい 情報板

事務局 局長	階上 町長	野辺地 町長	田舎館 村長	深浦 町長	三沢 市長	議員	東通 村長	副議長	平内 町長	議長	南郷 町長	監査委員	つがる 市長	副組合長	六戸 町長	組合長	役員
福士 和良	浜谷	中谷	鈴木	吉田	種市	越善	船橋	工藤	福島	吉田	工藤	福島	吉田	福島	吉田	吉田	吉田
外職員一同	豊美 (7区)	純逸 (5区)	孝雄 (4区)	一正 (3区)	靖夫 (6区)	茂久 (2区)	祐直	弘芳	豊								

組合ホームページをご利用ください <http://aomori-taite.jp>
(主な内容/お知らせ・概要・例規集・様式・事務の手引き・試算・構成団体決算状況・組合回覧誌「やすらぎ」・リンク集)

あいな の クロスワードパズル



□の中の文字を並べると、ある言葉ができます。
(ヒントは「やすらぎ」の中にあります。)
はがきにクロスワードの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、所属市町村名、「やすらぎ」へのご意見、ご感想、メッセージを添えて、青森市堤町2丁目1-1 青森県市町村職員退職手当組合「やすらぎ」編集室までお送り下さい。正解者10名様に抽選で素敵なプレゼントを差し上げます。
締切/平成31年2月末日消印有効

<タテのカギ>
1.白鳥の飛来地、平内町の「○○○○○海岸」 2.トランプのジョーカー 3.性急・拙速な思考 5.実行されない約束 7.雲種類 9.結婚の仲立ちを務める人 11.生まれ育った家 13.女性が首などに巻くのは? 16.岐阜県長良川で行われている伝統的な漁法 17.小川原湖で釣ったワカサギを入れる「○○○○ボックス」 23.漢字で「無花果」と書く果実 24.釈迦如来、阿弥陀如来、弥勒菩薩など 26.栗のこと 27.「海鹽」と書く海の動物 29.「○○も実力のうち」 31.「○○雑言」、悪口を並び立てること

<ヨコのカギ>
1.「○○もえくぼ」、好きになつたらとことん良く見える 4.「案山子」 8.熱帯、亜熱帯地方に見られる乾燥した草原 10.イカズチのかみ、つまり雷様のこと 12.ワニのロゴと共に誕生した、フランスを代表するアパレルのブランド 14.奥入瀬渓流の入り口近くに佇む一軒宿「○○温泉」 15.「大空」「飛翔」をテーマとした三沢市の博物館 18.汚水を細かい穴のついた装置で不純物を取り除くこと。「雨水を○○して、飲料水に」 19.英語で娘のこと 20.岩より小さく、砂よりも大きい 22.サッカークラブチーム「○○メール青森」 25.南米ペルーの首都 27.弓のように弧をなして曲がっている形状。虹や岩国市の錦帯橋もこの形 28.「玉蜀黍」ぬきみは青森の人気ブランド 30.その土地で長い年月をかけてきた「○○産業」 32.下北や南部地方で食される家庭料理「○○○○汁」 33.早春に咲く赤紫の可憐な花びらが美しい、黒石市の「○○○○の小径」はちょっとした観光スポット

前回パズルの当選者

厳正な抽選の結果、次の10名様が当選しました。おめでとうございます。
(応募数85名)

〈前回パズルの解答〉
がりすてごはん

〈所属市町村名・氏名〉
黒石市 岡崎 健太郎 六ヶ所村 佐藤 利恵子
むつ市 種市 大輝 佐井村 東出 真実
つがる市 粕谷 竜一 五戸町 盛田 成子
つがる市 成田 康輝 一部事務組合下北医療センター 濱谷 修
外ヶ浜町 白戸 昌俊 一部事務組合下北医療センター 西田 由佳子

謹賀新年

地元の食材を生かした料理で

三沢の素晴らしさを知って欲しい！

青森割烹久庵

オーナー料理長

久保

慶太さん(30歳)



「三沢沖では、春はヒラメ、ワラサ、タコ。夏はトラフグ、イカ。秋は穴子、サケ、三沢前沖サバ。冬はホッキ貝など、新鮮な魚介がたくさん獲れます。野菜も、ゴボウ、ナガイモ、ニンニクなど、三沢で作られているんですよ。この新鮮な食材をふんだんに使って旨い料理を提供し、三沢は美味しいものが食べられる街であることを全国にア

ピールしたい。」
そう話すのは、三沢市の繁華街で昨年6月「青森割烹 久庵」をオープンさせた若き料理人・久保慶太さん。木のぬくもりを感じさせるシンプルなお店には、金山焼の特注器と、青森県産の地酒が並ぶ。

三沢市で生まれた久保さんは、子どもの頃、TV番組「料理の鉄人」に憧れ、三沢高校を卒業後、八戸の調理師専門学校へ。東京と三沢で寿司と懐石を10年間修行し、念願の店をオープンさせた。

「三沢に住むアメリカ人は、航空関連が多いからか、みなさんとてもスマート。まったく英語は話せませんが、身振り手振りやスマホアプリで何とかかかっています」と打ち明ける。



「三沢市で生まれた久保さんは、子どもの頃、TV番組「料理の鉄人」に憧れ、三沢高校を卒業後、八戸の調理師専門学校へ。東京と三沢で寿司と懐石を10年間修行し、念願の店をオープンさせた。

「旅をすれば、三沢の素晴らしさがわかる。三沢には、ここに来なければ食べられない、ほんとうに良い食材がたくさんあるんです。自分が目利きした食材やお酒を、どうしたらもっと美味しく食べてもらえるか、考えるのはとても楽しいこと」とキツパリ。お店は、ご両親と妹さんが手伝い、アットホームな雰囲気を感じている。

「三沢には、ここに来なければ食べられない、ほんとうに良い食材がたくさんあるんです。自分が目利きした食材やお酒を、どうしたらもっと美味しく食べてもらえるか、考えるのはとても楽しいこと」とキツパリ。お店は、ご両親と妹さんが手伝い、アットホームな雰囲気を感じている。



「三沢市で生まれた久保さんは、子どもの頃、TV番組「料理の鉄人」に憧れ、三沢高校を卒業後、八戸の調理師専門学校へ。東京と三沢で寿司と懐石を10年間修行し、念願の店をオープンさせた。

「三沢市で生まれた久保さんは、子どもの頃、TV番組「料理の鉄人」に憧れ、三沢高校を卒業後、八戸の調理師専門学校へ。東京と三沢で寿司と懐石を10年間修行し、念願の店をオープンさせた。

「三沢市で生まれた久保さんは、子どもの頃、TV番組「料理の鉄人」に憧れ、三沢高校を卒業後、八戸の調理師専門学校へ。東京と三沢で寿司と懐石を10年間修行し、念願の店をオープンさせた。

「三沢市で生まれた久保さんは、子どもの頃、TV番組「料理の鉄人」に憧れ、三沢高校を卒業後、八戸の調理師専門学校へ。東京と三沢で寿司と懐石を10年間修行し、念願の店をオープンさせた。

清水典子の首都圏で

見つけた！あのもり人。

じきん刺しで描くふるわさへの思い

大鰐町出身現代津軽こぎん刺し作家

貴田 洋子さん



晩秋の東京六本木、国立新美術館の日展会場で貴田洋子さんの作品の前に立った時、懐かしい安堵感に包まれた。そこには堂々と穏やかな岩木山と津軽の風景が広がっていた。

「日本現代工芸美術展」に出品し、東京都美術館に展示したいという夢に向かって制作を始めた。

「この鳥たちは八咫鳥(やたがらす)です。カラスは強くて負けない。魔除けでもあり、守り神のような存在ですね」とほえむ。

季節は春。岩木山の左手から日が射し、雪解けが始まっている。津軽の人には馴染みのある「雪形」が幾つもあり、それらを表現しているのはこぎん刺しの紋様だ。目を凝らすと「かちやらず」「結び花」などの基本紋様が浮かび上がってくる。

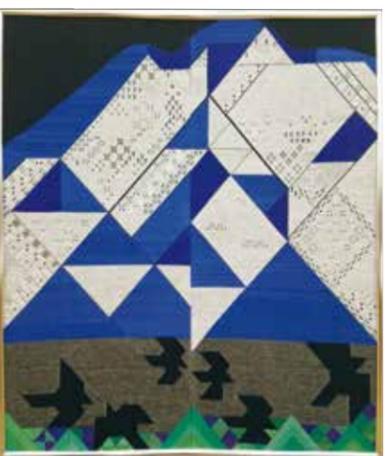
「和歌集には詠み人知らずの歌がありますが、津軽の女性たちが育んだこぎん刺しは『刺し人知らず』。私のこぎん作家としての出発点は名も顔も知らない先人、津軽の女性たちです」と話す。

「この鳥たちは八咫鳥(やたがらす)です。カラスは強くて負けない。魔除けでもあり、守り神のような存在ですね」とほえむ。

「こぎん刺し」に目を見張った。

「この鳥たちは八咫鳥(やたがらす)です。カラスは強くて負けない。魔除けでもあり、守り神のような存在ですね」とほえむ。

「この鳥たちは八咫鳥(やたがらす)です。カラスは強くて負けない。魔除けでもあり、守り神のような存在ですね」とほえむ。



ホッとタイム

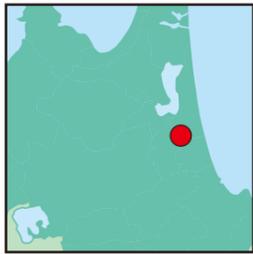
先日、新千歳空港から羽田行きの飛行機に乗りました。窓から見下ろすと海が見え、やがて半島らしきものが見え始めました。下北半島です。沼が点在するのは六ヶ所村辺りかと眺めると、大きな湖が現れました。小川原湖でしょ。身を乗り出すようにして津軽方面に眼を凝らすと、

「野良着」から生まれた用の美を持つこぎん刺しに敬意を表しつつ、新たな挑戦を続けていく貴田さん。「あの時代・あとは未来へ」という作品のタイトル通り、未来に向かって次の作品に思いを刺し込めていく。



貴田さんの中に、津軽のこぎん刺しをたくさんの人に知って欲しいという思いが芽生えた。

「この鳥たちは八咫鳥(やたがらす)です。カラスは強くて負けない。魔除けでもあり、守り神のような存在ですね」とほえむ。



[三沢市]

市町村めぐり



©SumomoKPA2008

「三沢ほっき丼」をPRするために誕生した、
ご当地キャラ「ほきのすけ」と「ホッキーナちゃん」

「海鮮野郎ホッキガイ」
Hiiー僕の名前はホッキーガイだよ！
僕のおじいちゃんは、三沢の林代海岸
から太平洋無着陸横断したミス・ビー
ドル号が飛んでいくのを見たんだ！僕
はおじいちゃんからアメリカの話とい
つばい聴いて育った。ボクシングで鍛
えた強いパワーとココロで、青森の夢
と勇氣、そして子どもたちの未来を守
るんだ。僕はいつでも君の味方さ！
See you!!!



街角インタビュー

三沢市の市民団体「WOMEN'S VISION」が主催して行ったまちづくりワークショップの中から、ホッキーガイは誕生し、新たにプロジェクトを立ち上げました。三沢市の笑顔を増やそう、三沢市を元気にしようという思いで活動しています。三沢三天まつり（三沢まつり）、三沢七夕まつり、三沢港まつり）に参加したり、子どもたちが参加するイベントでは、悪役のジョースベーターや子分サメと一緒にヒーローショーも行います。呼んでいただければ、どこへでも伺いますよ。冬の味覚「三沢ほっき丼」を、ぜひ食べに来てくださいねー



代表 岩本ヤヨエさん

旅情を誘う美しい自然と、異国情緒あふれる三沢市は、面積約120平方キロメートル、人口約40000人。米軍三沢基地があることで、プラス8000人もの米国人が居住する国際都市だ。三沢の冬の味覚といえば、ホッキ貝。三沢漁協は全国有数の水揚げを誇り、資源保護のため漁の期間や数量を限定しており、貝が大きく、肉厚でジューシー。茹でればピンク色になるのが特徴。新鮮なホッキ貝を使った「三沢ほっき丼」は、3月31日まで市内の飲食店28店舗で味わえる。

冬の三沢は、もう一度三沢を訪れ「ほっき丼」を食べ比べてみたい。冬の小川原湖は静寂で八甲田連峰をバックに、白鳥たちが羽を休めている。極寒の姉沼では、氷を割って、わかさぎ釣りが楽しめる。かつて三沢は、南部藩最大の馬の放牧場「木崎の牧」として知られた地。斗南藩記念観光村・道の駅みさわでは冬のホーストレッキングが体験できる。ほかにも青森県立三沢航空科学館「寺山修司記念館」「スカイプラザミサワ」など見どころいっぱい！今年の冬は、もう一度三沢を訪れ「ほっき丼」を食べ比べてみたい。

「Pigeon's Milk」として2003年にメジャーデビューし、現在は音楽活動と共に「ふく田」の若女将として奮闘しています。母と一緒に石焼料理と郷土料理を提供していて、人気料理は「和風石焼ほっき丼」。石の器の中に雑炊を入れ、新鮮な活ホッキ貝を乗せるから、お好みの焼加減で食べてみて！黒っぽいホッキ貝がピンク色に変わっていく様子も楽しめます。チーズロール、パイカ、パクチー料理もぜひ！
<https://fukuda-fukuda.jimdo.com/>



若女将 長堀ももさん



冬のホーストレッキング



三沢ほっき丼



冬の小川原湖



毎日が新鮮でおいすぎる

THIS IS MISAWA.

青森県三沢市「ホッキ貝の貝焼き」

(一社)三沢市観光協会 TEL:0176-59-2311 kite-misawa.com

facebook.com/misawasi.kanko

おいらの一番

平内町の豊かな自然・食・アートが楽しめる、
いろんなイベントに行こう！

海と山に囲まれ、ホタテの町として知られる平内町には、

ユニークなイベントがいろいろ！

家族や友だちを誘って、出掛けてみませんか！

ひらないMiRAi商店街

平内町のメインストリート・小湊商店街を歩行者天国にした「ひらないMiRAi商店街」が2018年9月に初開催されています。昔懐かしい小湊商店街では、味のある既存の店の蔵出し市をはじめ、青森県内外のクラフト作家が軒を連ねるマーケットエリア、飲食が楽しめるスナックエリアを開設。ステージエリアでは、子どもたちの鼓笛隊演奏、バンド演奏、ストリートダンスなどが披露されました。このほか、緑日やチャリティーゲーム大会なども行われる、盛りだくさんのイベントです。



ひらないの冬まつり

平内町の浅所海岸は、夏泊半島の東側付け根にある遠浅の海岸。古くから白鳥渡来地と知られ「小湊のハクチョウおよびその渡来地」として全国で唯一、特別天然記念物に指定されています。

その浅所海岸で、今年の2月に冬を楽しむイベントとして「ひらないの冬まつり」が開催されます。ハクチョウのまちシンポジウムやイグルー作り・スノーハイク体験が行われます。

ホタテの稚貝のみそ汁が振る舞われたり、焼きホタテの販売も行われたりする「白鳥まつり」も同日開催します。



ほたての祭典

養殖ホタテの水揚げ量日本一を誇る平内町で、平内町漁業協同組合が毎年秋に開催しているイベントが、ほたての祭典。夜越山森林公園特設会場では、ホタテ汁が無料で振る舞われるほか、活ホタテを格安で販売。ホタテ釣り、ホタテ貝焼き体験、ホタテの中身を取り出す「ほやき」競争、ホタテの詰め放題など、ホタテ尽くしの楽しい催しがいっぱいです。ほたてカレー、ほたて味噌、ほたて佃煮など、様々なグルメも味わえますよ。2018年の祭典では、平内町の新たなPRキャラクター「ウロボン」が登場！ホタテのウロから生まれたロボットは、頭や腕など黒い部分がウロ、おなかには貝柱、肩と背中には貝殻なんです。どこかで見かけたら、声をかけてね！



椿山クラフトキャンプ

日本の渚100選のひとつ・椿山海岸で、夏に行われているクラフトイベントです。県内外から集まった作家による素敵なクラフトや、飲食ブースなど、60店舗以上が並びます。穏やかな海岸では、シーカヌー体験、SUP(スタンドアップパドル・サーフィン)体験もできますよ。インストラクターが指導してくれるから、初めてでも安心です。ほかにも、潮風を感じながら行う「ビーチヨガ」、椿神社の手前にある大木を使った「木登り体験」も人気です。

Facebook : Hiranai Project REbirth



ブルーロード・ウォーク夏泊

夏泊半島の海岸線約17kmを、大島や椿山などの景色を楽しみながらウォーキングするイベントが、毎年7月に開催されています。コースは、夜越山をスタートし、茂浦→浦田→稲生→大島→椿山→東滝→夜越山でゴール。途中バスでの移動区間もあり、休憩は3回。昼食は、焼きホタテ、ホタテ汁、おにぎりを用意しています。よこしま温泉の入浴券もプレゼントされるので、疲れた体をゆっくりと温泉で癒すことができますよ。今年の夏、ぜひ参加してみませんか！

問い合わせ / 平内町大字東田沢字無沢1-11 「ブルーロード・ウォーク夏泊実行委員会」 田中宛

TEL.090-4881-3947

FAX.017-759-2456



夏泊半島 ブルーロードライド

夏泊半島の海岸線を、サイクリング(80キロメートル)とジョギング(20キロメートル)で楽しむイベントです。レース形式ではないので、参加者は陸奥湾のさわやかな海風を受けながら、各休憩所でアップルパイなどの軽食を味わったり、家族や友だちと記念撮影したり、それぞれ自分のペースで楽しむことができます。

問い合わせ / 夏泊半島ブルーロードライド実行委員会

TEL.017-755-2118

Eメール : kankou@town.hiranai.aomori.jp



肝硬変は、肝臓に炎症が起きて慢性化し、再生が不完全になり、壊死した肝細胞が繊維化して肝臓全体が萎縮して硬くなった状態のことをいいます。硬くなることで正常に機能する肝細胞が減少し、肝機能そのものが著しく低下します。しかし、残った肝細胞が肝機能をフォローしているため、自覚症状はほとんどありません。

ところが、ある程度病状が進行してくると、肝臓の機能が低下し、全身に倦怠感や疲労感、脱力感といった症状が出るようになります。人によつては、尿の色が濃くなったり、腹部膨満感を覚えたり、嘔吐、腹痛

といった症状が出る場合もあります。そして更に病状が進行すると、黄疸が出たり、腹水がたまったり、吐血をしたり、肝臓がんになる確率がとても高くなり、肝性脳症など生命そのものを脅かす危険な症状も現われてきます。また肝硬変になると皮膚に症状があらわれることもあります。肝硬変の原因は、肝炎ウイルスへの感染、自己免疫疾患、薬剤や毒物の摂取、感染症、代謝障害、アルコールの過剰摂取など、いろいろあります。



治療方法としては、生活改善が重要になってきます。禁酒や栄養バランスの取れた食事をとるといいうのはもちろん、しっかりと休養をして過労を避けることも大切です。黄疸や浮腫、意識障害等がみられる場合には、入院をして全身の状態を整える必要があります。また肝がんの合併を防ぐための治療も行われます。

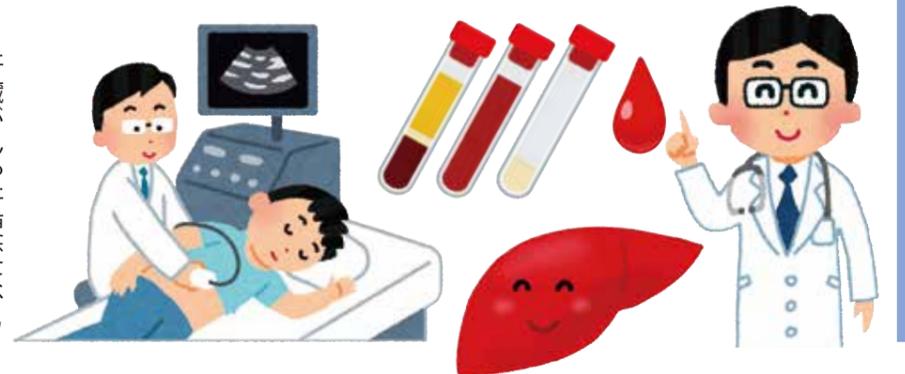


肝臓の機能を調べる検査は、大きく分けて、血液学的検査と腹部の超音波などを行う形態検査があります。なかでも血液検査は、苦痛が少なく、肝臓の異常を迅速に知る手がかりとなります。

血液検査には、血液生化学的検査と血清学的検査があり、肝障害を起こす原因のひとつであるB型肝炎のウイルスに感染しているかを調べる検査や、C型肝炎ウイルスなどを調べる検査があります。

動き盛りの健康法

肝臓の検査を受けよう！



肝臓がんや肝硬変は、ウイルス性肝炎から移行する場合も多いことがわかってきます。肝臓の検査を受け、肝障害の発生を予防しましょう！

あいちちゃんの 読んで得だね!

今回「やすらぎ」の取材で訪れた三沢市と平内町の、とっておき情報を紹介します!!

姉沼でワカサギ釣りを楽しもう!

《三沢市》

「宝の湖」と呼ばれる小川原湖。姉沼川でつながっている姉沼では、結氷した1月下旬から解氷する3月中旬頃まで、ワカサギ釣りが楽しめます。



まずは真っ白な氷上にテントを張ってポイントを決め、ドリルで氷に穴を掘ったらワカサギ釣りにトライ!釣ったワカサギは、その場で唐揚げにしていれば、最高の気分です。

営業時間は6:30~15:00まで。初心者や観光の途中、手ぶらでも大丈夫。竿からテント、長靴までレンタルしてくれるので、気軽にワカサギ釣りデビューができますよ!

事前予約をすれば、テント設営から穴あけ、魚探、釣り指導までしてくれるおまかせパックも人気です。



■お問い合わせ / 青森フィッシングガイド TEL.090-3506-6608
http://aomori-fishing-guide.com

第32回夜越山洋ランまつり開催!

《平内町》

春が待ち遠しいこの季節、年間を通してサボテンと洋ランが楽しめる夜越山森林公園サボテン園では3月に、毎年恒例の夜越山洋ランまつりが開催されます。



洋ラン温室には150種・2,000鉢の洋ランを展示しているほか、大型メインディスプレイには50種・1,000鉢もの洋ランが飾られます。

ほかにも趣向を凝らしたイベントや、通常の20%~30%OFFの即売会、専門家による洋ラン相談室、青森蘭友会展示会も開催。気品あふれる洋ランで、一足早く春を感じてみてはいかがでしょうか!



《開催期間》平成31年3月2日~21日
■お問い合わせ / 平内町夜越山森林公園 TEL.017-755-2663

あいちゃんのほのぼのコーナー

あいちゃん歓迎会の巻

♡取材こぼれ話

《三沢市》

♡道の駅みさわ斗南藩記念観光村「くれ馬ば〜く」で見つけたお土産は、何と「ごぼう」尽くし！三沢のごぼうは、作付面積・出荷量ともに日本一なんです。「みさわごぼう茶」は、冷涼な気候で育った、味のよいゴボウの規格外で作った逸品。



「ごぼう珈琲」はノンカフェインなんです。ごぼうのおやつ「Goboco」は醤油味、味噌味、塩味などが楽しめます。



「三沢おつまみごぼう」は、旨辛きんぴら味など3種類。



ほかにも「ゴボウそば」「牛蒡かりんとう」などいろいろありました。

♡そして三沢の新しいB級グルメといえば「パイカ」。豚バラ肉の周辺にある軟骨のことで、三沢市畜産公社が軟骨も全部食べられる「煮込み料理」を発売したのがきっかけ。「パイカの赤ワイン煮」「パイカ入りカレー」「パイカ鍋」「パイカ丼の素」などラインナップも豊富でした。



♡ユニークなお土産は「家出のするめ」。子ども時代を三沢で過ごした寺山修司の代表作「家出のするめ」がパッケージになったさきいかです。



♡そしてランチタイムは「ふく田」へ。ここでは、寺山修司が愛したスペシャルメニューをいただきました。「寺山定食」は、寺山が大好物だった餃子の定食。



「寺山セット」は、競馬好きの寺山が競馬に行く時、げんを担いで食べたかつ丼とおそばのセットです。



「天井桟敷ラーメン」は、劇団の欧州公演で、当時手に入らない中華麺の代わりに、パスタで作った醤油味のラーメン。



ほかにも「石焼パイカドリア」、三沢市民はもちろん米国人にも人気の「チーズロール」「ソースかつ丼」もいただきました。



《平内町》

♡平内町でのランチタイムは、今回表紙で紹介し、ずーっと行って見たかったホタテ料理専門レストラン「ひらないまるごとグルメ館・ホタテ一番」へ。お店では「ホタテおむすび&10種おかず籠盛り弁当」「炙りホタテ&ワンタン岩海苔塩ラーメン」「活ホタテの刺身付き活ホタテの刺身丼」「熱々！ホタテのラクレットチーズ焼き」をいただきました。どの料理もホタテがふんだんに使われ、趣向をこらしたもののばかり。



今回はホタテの唐揚げや、ホタテの串揚げ、ホタテ餃子も食べてみたいと思いました。

♡デザートは「ひらないまるごとグルメ館」にあるチャレンジショップ「Base Camp (ベースキャンプ)」で。平内町内でログハウスのお菓子工房「Petit Bonheur」を開いているオーナーパティシエ渡辺悟さんが開いたお店だそうです。イチゴのケーキ、とっても美味しかった！



♡「ほたて広場」では、ホタテのお土産をGET！「ほたてマヨネーズ」はサラダや酒の肴にぴったり。ほかにもホタテのエキスが詰まった「ほたて醤油」「ほたてドレッシング」「ほたてカレー」「ほたてシチュー」「ほたてかりんとう」など、平内産のホタテでできたものがズラリ！もちろん地元ならではの、お手頃価格で購入できる「活ホタテ」もありました。



♡おなかいっぱい！なのにもかかわらず、シメでいただいたのは「ほたて広場」のホタテソフトクリーム。ホタテのエキスに、ほんのり塩味が効いていました。

